

# 「わかった」「できた」が実感 できる体育授業の充実

## 大分県臼杵市立市浜小学校

全校児童数	424名(男子236名 女子188名)		
全クラス数	15	教職員数	36名
体育専科教員訪問学校数			4校
訪問校	臼杵市立 下南小学校・福良ヶ丘小学校 下ノ江小学校・佐志生小学校		
体育専科教員名		渡辺 省三	

### Plan：取組時の課題と計画

#### 1 取組時の課題

##### ◆体力運動能力調査の結果分析から

体力運動能力調査において、全国平均を上回る項目が49%であり、特にボール投げ、立ち幅跳び、上体起こしが低かった。

##### ◆学校評価アンケートから

「運動(遊び)が好き」と肯定的にとらえている児童の割合が、男子94%・女子84%であった。そして、体育の授業に限った同じ問いでは、「好き」が男子97%・女子92%であった。

#### 2 取組の計画

##### ① 体育授業の充実

「わかった」「できた」が実感できる体育授業の充実を図るため、つけたい力を明確にした「めあて学習」を展開し、めあてとふりかえりを意識した体育授業に取り組む。

##### ② 体力向上の取組を臼杵市全体へ広げる

積極的に体育授業を公開し、T1・T2として体育専科教員が助言したり、専門的な知識・指導法を広めたりして、臼杵市の教員の体育授業の充実を図る。また、体力向上会議において、各校の体育主任に正しい測定方法や結果向上のための練習方法を説明する。

##### ③ 体育備品・環境の整備

体育授業で扱う内容の備品を計画的に整備し、運動機会の増加をめざす。

### Do：実践内容

#### 1 体育授業の充実

##### (1) 「めあて学習」展開していく授業

つけたい力を明確にし、「めあて学習」を展開していく体育授業を実践した。めあては、個人のめあてを中心に領域によって集団(チーム)のめあてを立てさせた。

##### (2) 体育的行事と連動した体力向上

学期ごとに「リレー大会」「運動会」「長なわ大会」を市浜小スポーツ三大大会と位置づけ、それぞれ本番に向けて、休み時間などに練習できる場・用具(リレーバトン、ジャンピングボードなど)を準備し、日常的な体力向上を行った。

#### 2 体力向上の取組を臼杵市全体へ広げる

##### (1) 積極的な授業公開

11月に学校体育研究大会臼杵大会の小学校分科会が本校で開催され、「タグラグビー」の授業研究を県内の多くの先生方に思考・判断によるチームの作戦の練り合いや児童同士の見合い・教え合いの実践を見ていただいた。

##### (2) 臼杵市体力向上会議

年間2回の臼杵市体力向上会議を行い、各校体育主任

参加のもと、第1回に臼杵市の体力にかかわる課題の共有と「体力テストの正しい測定方法」や、結果向上のために測定前の体操・ストレッチ等の実技講習を行った。

#### 3 体育備品・環境の整備

体育備品の確認を行い、体育倉庫の整理整頓を行った。ドッジボールコートをも3面設置し、本校の課題である投の運動の機会を増やした。また、担任が使用しやすいよう補助具の作成や備品の作成・購入など環境整備を行った。

#### ●工夫したこと(&苦労した点)

- ① めあてへの意識を高めさせるために授業のめあてを子どもたちの言葉で位置づけるようにした。
- ② 勤務校では、担任と綿密な打ち合わせを行うことにより、体育専科教員がT2として運動の中核となる技能について助言・補助しながらめあてを達成していく授業スタイルを実践してきた。
- ③ 限られた予算の中、材料費のみで手作り体育備品・環境の整備を行うこともあった。苦手な子でも意欲的にボール運動に取り組めるようにスマイルボールを購入した。

### Check：取組の成果

- ① 学校評価アンケートにおいて、「体育の授業で運動のやり方が分かった」が93.9%であった。各単元において、児童が興味・意欲・関心が高まる教材・教具・場づくりの工夫をしたり、めあてとふりかえりを意識した「めあて学習」を積極的に実践したりしてきた。各運動領域に偏りのない体育授業により、「わかった」「できた」が、実感できる体育授業が概ねできたと実感している。
- ② 体力運動能力調査において、全国平均を上回る項目が47/96で59%であった。正しい測定方法や結果向上のための実技講習から結果が年々向上している。
- ③ ドッジボールコートの設置により、今まで見られなかったブームが起きている。

### Action：今後の課題

訪問校によっては、用具など揃っていないところもあり、勤務校から持っていくことが多かった。市内で備品等の貸し借りなどがスムーズに行えるようなシステムづくりや、本務校・訪問校だけでなく取り組みを全体に広める取り組みを進めていく必要がある。

#### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

子どもが体育の授業を楽しみにしているため、体育の授業での忘れ物がほとんどない。他の教科や学級経営に活かしてほしい。今後も子どもにとって魅力ある体育の授業の充実に努めていきたい。

授業実践（公開授業）



第3学年 ボール運動「ティーボール」  
(ベースボール型)



第6学年 ボール運動「タグラグビー」  
(ゴール型)  
学体研 小学校分科会 授業研究



第2学年 ゲーム「ダブルコートシュートゲーム」  
(ボール投げゲーム)

体育備品・環境の整備



跳び箱運搬台（改良）



屋外用得点板（改良）



スマイルボール（各種）



ハンドボール用ゴール



投の運動練習リボン